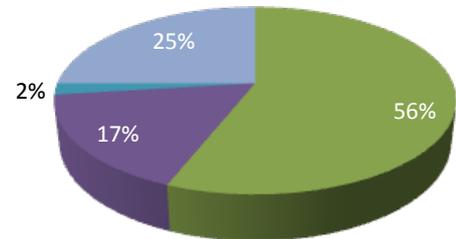


やまわ
株式会社彌満和プレジジョン 本社工場

工場所在地 〒960-8057
福島県福島市笹木野字笹木野原3-3
024-591-1415
主たる業種名 機械工具製造業
主要製品名 タップ、ダイス、センタ工具
ウェブサイト <http://www.yamawa.com/jp/ff/>

緑地等の種別面積割合

<緑地等の総面積 13,979m²>



- 自然型樹群・樹林
- 整形型樹群・樹林
- 単木・列状植栽地
- 地被植物
- 花壇
- その他
- 緑地以外の環境施設



工場緑化のキャッチフレーズ

地域環境と調和を図り、地域住民に愛される緑豊かな工場！

緑化等の概要

- ・本工場は、福島県屈指の梨の産地である笹木野（萱場地区）に 1964 年（昭和 39）操業を開始し、周囲の環境と調和を図るために操業当初より桜の木を始めとする木々の植栽や公園緑地を目指した緑化活動を推進している。
- ・2002 年に ISO14000 を取得し「企業活動を通じて豊かな地球環境づくりに貢献する」ことを環境理念に掲げ、緑化と共に ECO 活動や自然と共存するための再生可能エネルギーの活用にも取り組み 2014 年に瞬間最大発電量 100kW と 50kW のソーラーパネルを 2 つの建屋の屋根に設置している。また、雨水のトイレ排水利用など環境負荷軽減に取り組んでいる。
- ・毎年 4 月に地域の方々との交流を深めるために敷地を開放し樹齢 50 年を越す桜並木の下で行う「桜観賞会」も今年で 13 回を迎えている。また、この観賞会は、2011 年東日本大震災で工場内が大きな被害を受けた際にも地域復興の一役を担えればという気持ちで継続して開催した。
- ・夏の暑さ対策として、事務部門の建屋の周囲に緑を利用したゴーヤのウインドスクリーンを敷設し、強烈な日差しを遮り室内の空調効果を高めている。
- ・2015 年隣接する遊休地を取得し工場敷地を拡張する際に緑地を増やす等の緑化推進を行っている。

<緑地のようす>



紅白梅から事務所棟(景観)



ソメイヨシノから吾妻連峰を眺めることができます



ソーラーパネル



今年で 13 回目の桜観賞会を開催しました

<力を入れている取り組み>

- ・緑化推進に対しては、敷地及び工場建屋内外の管理を専門に行う部門を設け、木々の剪定や草花の手入れも従業員が行っている。また、社員教育の一貫として、工場内外の清掃活動も積極的に行っている。
- ・地元の中学生の職場体験学習、高校生のインターンシップも積極的に受け入れ、工場内業務と共に緑化活動作業を体験させている。



自社内の専門部門で剪定作業を行っています



専門部門以外に社員教育の一環として池掃除やその周辺の掃除を行っています

敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

弊社が福島の現在の地に創業し 51 年が経ちました。当時植樹した桜の木も老木となりつつありますが、その手入れや、その他植栽の剪定、草刈など緑化活動は全て自分たちで行っています。弊社は果樹園と隣接しているため、地域と協調することとコミュニケーションを大切に考えています。今後も緑化の推進と維持ができるよう活動を継続していきます。

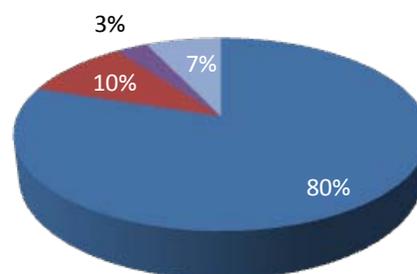
株式会社 山櫻 八王子の森工場

工場所在地 〒192-0918
東京都八王子市兵衛 2-35-6
042-632-8131

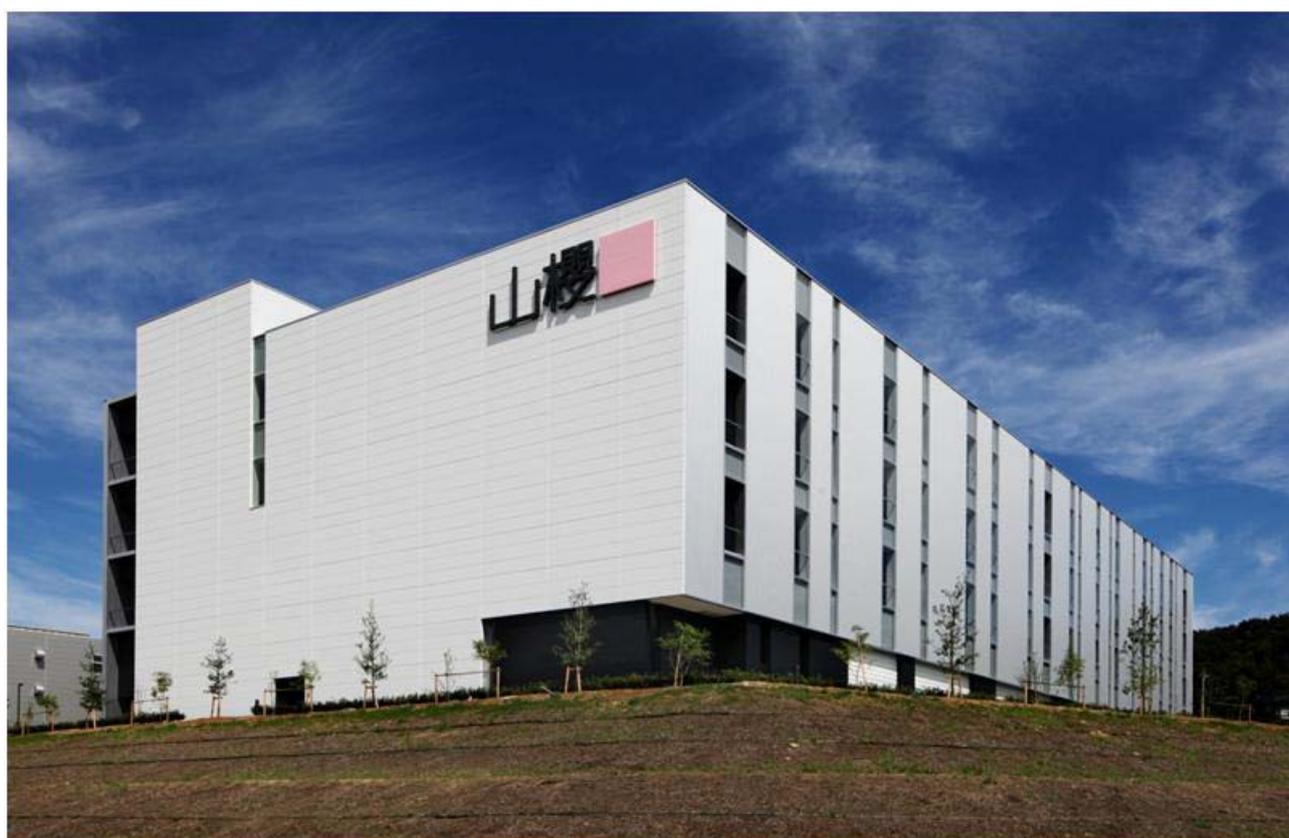
主たる業種名 パルプ・紙・紙加工品製造業
主要製品名 名刺、封筒、カード、はがき等
ウェブサイト <http://www.yamazakura.co.jp/>

緑地等の種別面積割合

<緑地等の総面積 10,671m²>



- 自然型樹群・樹林
- 整形型樹群・樹林
- 単木・列状植栽地
- 地被植物
- 花壇
- その他
- 緑地以外の環境施設



工場緑化のキャッチフレーズ

豊かな自然と調和する山櫻の丘の成長を社員の努力で

緑化等の概要

- 株式会社 山櫻 八王子の森工場は、特定工場規模未満の工場であるが、広い法面を活用し、周辺環境に配慮した、環境への取り組みに力を入れている。
- 敷地の周りには、本社・支店の代表者や工場建設に携わった企業が、自らの手でサクラを植え、その数は36品種、144本にも及んでいる。
- サクラの開花日や育成の状況を記録しており、一本一本に植樹部署名、支店名を記載したプレートを付けるなど、社員一人ひとりの意識の向上に努めている。
- 緑地の整備は、基本的に従業員が行っており、8名のメンバーで構成された山櫻の丘プロジェクト事務局と役員・社員等が全社の植栽管理等の緑化活動を推進している。
- 将来は、周辺住民への開放を検討し、社員の手により13本の階段を制作するなど、地域への貢献意欲が高い。
- このような取り組みが評価され、当社は英国より日本の皇室に贈呈された、ウィリアム王子の結婚記念のサクラのうち2本を下賜されており、当社会長はそのサクラに和名で「山櫻ロイヤル 80（八重）」と命名し、当社の80周年記念樹として、当工場に植樹されている。
- 工場の5階は半分がカフェテリア、残りはテラスとなっている。そのテラスはウッドデッキ、敷石、植栽で構成され、社員の憩いの場として整備されている。
- 全社員にサクラや植栽への興味、日々の植栽管理の大切さを理解してもらうため山櫻の丘募金を実施している。募金は、山櫻の丘・本社ならびに各拠点の植栽管理に必要な器具、花苗、肥料、土（培養土、腐葉土等）の購入に充てている。当該庭園の植栽管理はすべて社員により行われている。

<緑地のようす>



周辺道路南側からの眺め



手前：山櫻ロイヤル 80
奥：八重紅枝垂桜（シンボルツリー）

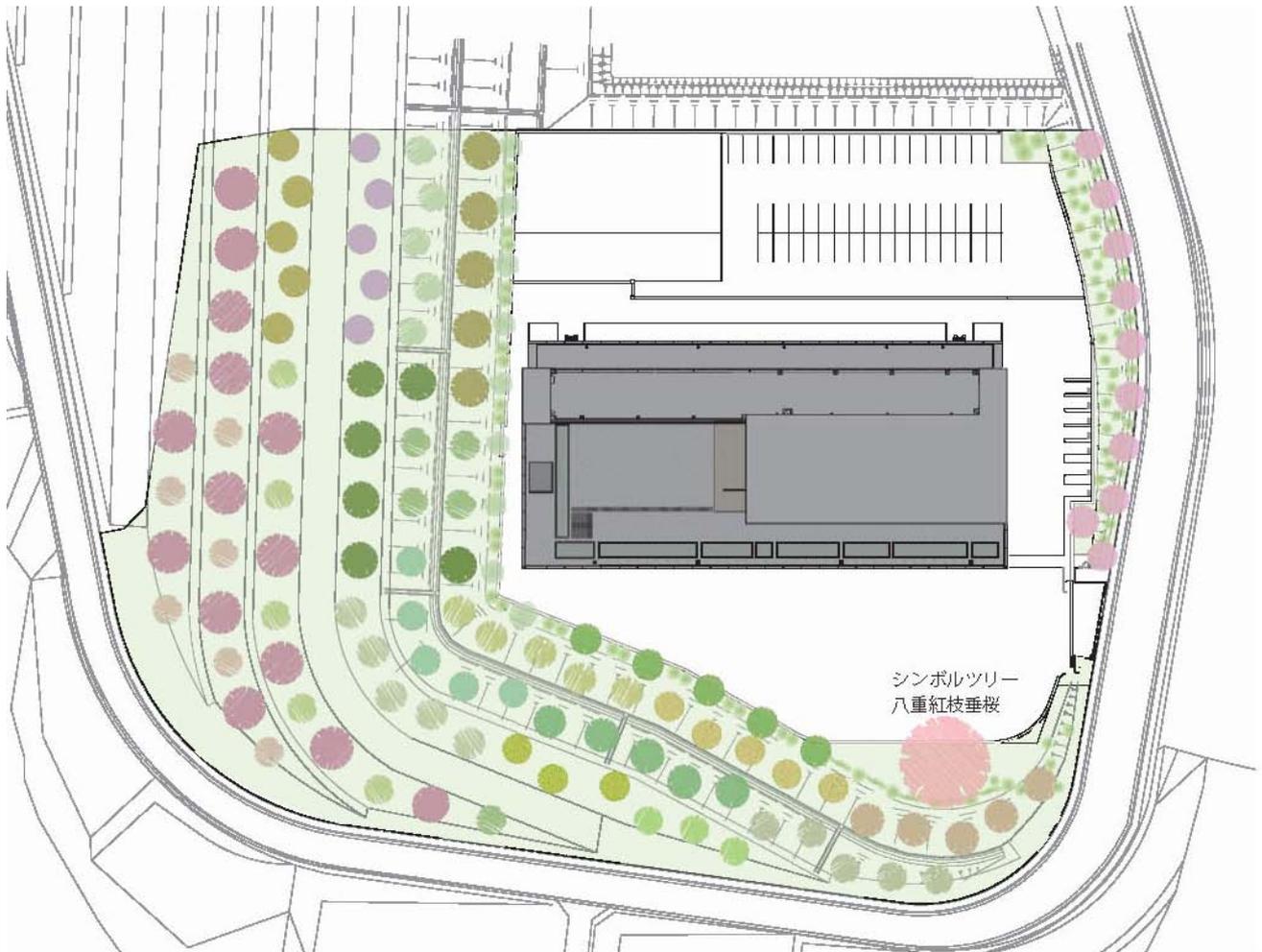


隣接する竹林（八王子市）の沢にはホテルが生息しているため、照明制限などを協力



カフェテリアに座って外を眺めると
手前の植栽と周辺の景色が一体化して楽しめる

敷地平面図



- | | | | |
|---------|-------|-------|---------|
| ● 山桜 | ● 苔清水 | ● 松月 | ● 普賢象 |
| ● 水晶 | ● 鬱金 | ● 東錦 | ● 福祿寿 |
| ● 名鳥桜 | ● 雨宿 | ● 大峰桜 | ● 紅豊 |
| ● 市原虎の尾 | ● 大沢桜 | ● 妹背 | ● 白山大手毬 |



植栽計画図 S=1:1200

全国の工場緑化担当者の皆様へ

当工場は、2009年8月の竣工以来、全社員の理解と協力で敷地内ならびに法面の緑化と環境保全活動に継続努力しています。

社員の努力で可能な緑化の作業内容を造園業者と相談して、年間作業計画に従って定期的に作業を進めています。

緑地管理、地域環境の維持（清掃活動）、雑草の刈り取りや樹木の剪定、一般の手入れ等の維持管理をして、費用をかけない自助努力での「山桜の丘の成長」を目標にしています。

作業を継続することにより社員一人ひとりのさくらや樹木への愛情が深まり、知識の習得や自然環境保護に対する意識の向上も徐々に増しています。

植樹したサクラが年々成長し、近い将来「山桜の丘」が地域住民の憩いの場所に開放することができることを大きな夢に、これからも継続した緑化活動を推進していきたいと思えます。

株式会社オハラ

工場所在地 〒252-5286
神奈川県相模原市中央区小山1丁目15番30号
042-772-2101

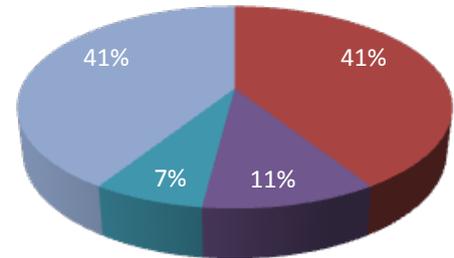
主たる業種名 窯業・土石製品製造業

主要製品名 光学ガラス及び特殊ガラス

ウェブサイト <http://www.ohara-inc.co.jp/>

緑地等の種別面積割合

<緑地等の総面積 18,637m²>



- 自然型樹群・樹林
- 整形型樹群・樹林
- 単木・列状植栽地
- 地被植物
- 花壇
- その他
- 緑地以外の環境施設



工場緑化のキャッチフレーズ

緑豊かな公園工場

緑化等の概要

- 株式会社オハラは三大都市圏の市街化区域内で、かつ、駅に近い立地であり、周辺に自然の山や川がない地域に立地しているながら、多くの緑地等が整備されている。
- 工場敷地の南側は道路を挟んで住宅街と接しているため、敷地南側の住宅街側に緑地を多く配置し、工場周辺との調和が図られるよう緑地の配置にも配慮している。
- 緑地等の維持・管理は定期的（年 35 回）に実施され、自社および業者委託により緑地等の保全を行っている。
- 工場敷地内の一画には、バラ園が整備され、広さ 980 m²の敷地に 600 株、70 種類のバラを植えており、春秋にはさまざまな色のバラが咲き、地域に開放している。バラ園内には工場内の炉で使用し、廃材となったレンガを通路に敷くなど廃材の有効活用も行っている。
- 屋外運動場である野球場は社内部活動の利用にとどまらず、休日には地域の少年野球チームへ貸出しをしている。
- 工場緑化以外の環境保全の取組においても、工場敷地の外周付近の清掃活動、ノーカーデー運動、地域のボランティア清掃活動への参加等も積極的に実施しており、それらの活動が認められ相模原市美化運動推進協会から美化運動推進功労者として表彰された実績もある。

<緑地のようす>



<力を入れている取り組み>

- 従業員による工場敷地外周の清掃活動や相模原市内を流れる相模川の清掃活動に従業員とその家族が積極的に参加しています。
- また、工場敷地内の一画には昭和 30 年頃に作られたバラ園があり、現在まで維持・管理を継続して行っています。春秋には地域住民の方々に開放し、様々な色のバラを楽しんでもらっています。

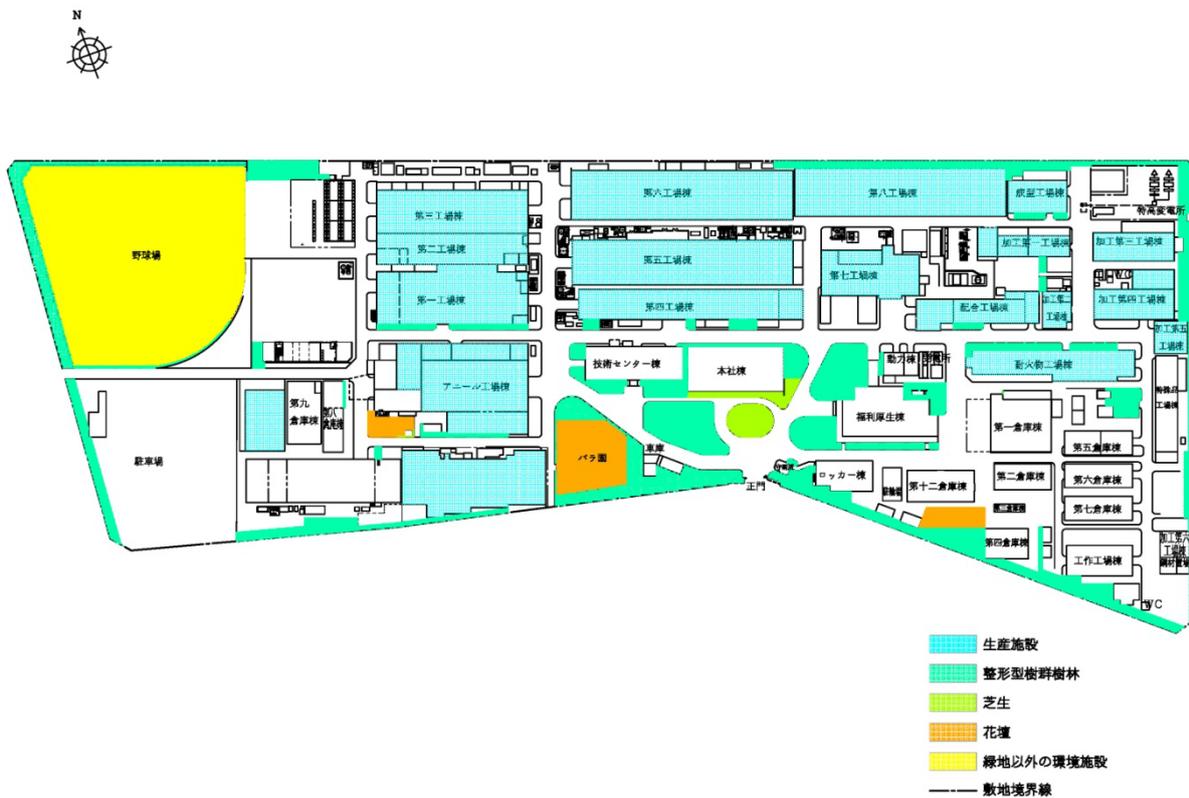


清掃活動



相模川清掃活動

敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

当社は住宅街に隣接しているため緑地の配置に配慮し、工場周辺との調和を図るよう心掛けています。また構内にはサクラやキンモクセイなど、従業員や近隣住民の方々に季節を感じていただける花木を多く植樹しています。

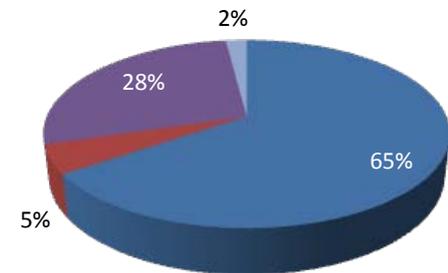
工場緑化の推進は、人と自然をつなぐ取り組みのひとつとして、従業員の共生意識の高揚と地域社会への貢献であると考えております。

プライムアースEVエネルギー株式会社 大森工場

工場所在地 〒431-0422
静岡県湖西市岡崎 20 番地
053-577-3820
主たる業種名 蓄電池製造業
主要製品名
ウェブサイト <http://www.peve.jp/>

緑地等の種別面積割合

<緑地等の総面積 53,728m²>



- 自然型樹群・樹林
- 整形型樹群・樹林
- 単木・列状植栽地
- 地被植物
- 花壇
- その他
- 緑地以外の環境施設



工場緑化のキャッチフレーズ

緑と工場のハイブリッドによるモノづくり

緑化等の概要

2008年の本社機能の移転を含めた大森工場の造成では、ビオトープの整備や残地森林（里山）の保存、地域由来の植生に基づく敷地のり面の緑化や従業員の植林による「共存の森」の整備など、自らを主人公として「ハーモニアスエナジーで作る車の未来と地球環境」の実践に取り組んできた。

- ・ いわゆる宮脇方式を導入し、地域由来の植生に基づく緑化環境を創出
- ・ 共存の森は従業員が一本ずつ地域由来の樹種計 500 本を植林
- ・ 「地域環境との共存」を社内的な緑化活動のみに限定せず、工場敷地に「ふれあい公園」を整備して、地域の方々が日常的に利用できるスペースを提供。従業員も通勤時にストレッチやリフレッシュができる場として利用している
- ・ 本来あるべき植生の保護・整備を重視しつつ、建屋周囲の芝生は美しく刈り込んで美観の維持にも注力
- ・ 従業員主体の環境活動（部署単位、職制単位、全社横断といった活動単位でのゴミ拾い）
- ・ 地域との共生・共存に向けて、「息の長い活動」を意識
 - 地域主体の環境保護・保全活動（各地クリーン作戦）にも積極的に参加
 - 近隣中学での環境総合学習支援（講師派遣、見学受入れ）
 - 地域懇談会を通じた意見交換
 - 近隣地域への丁寧な方針説明（自治会への説明会）
 - 各種自治体・行政機関からの工場・施設見学受入れ（工場緑化・環境取組み説明含む）
- ・ ISO14001 認証の取得と維持
- ・ 太陽光パネルの導入 など

<緑地のようす>



「大森」という地名が示す通り、“大きな森”の中に佇む工場になることを願っています



本社本館前にはビオトープが整備され、その後ろには地域由来の植生を従業員で植樹した「共存の森」が広がっています



ビオトープでは工場敷地造成前に生息していたホトケドジョウやヒメタイコウチといった絶滅危惧種の生物やサクラバハノキなどの植物が生育してかつての自然環境が息づいています



敷地造成では全ての自然に手を加えることなく、残地森林区域を設けて本来の「里山」をそのままに維持しています



公道に面した敷地には「ふれあい公園」を整備して、地域にも利用を開放しています



近隣の中学一年生の環境総合学習の場として、自然保護の取組みや排水処理での工夫を説明し、企業活動と環境保護について知識を深める場を提供しています

<力を入れている取組み>

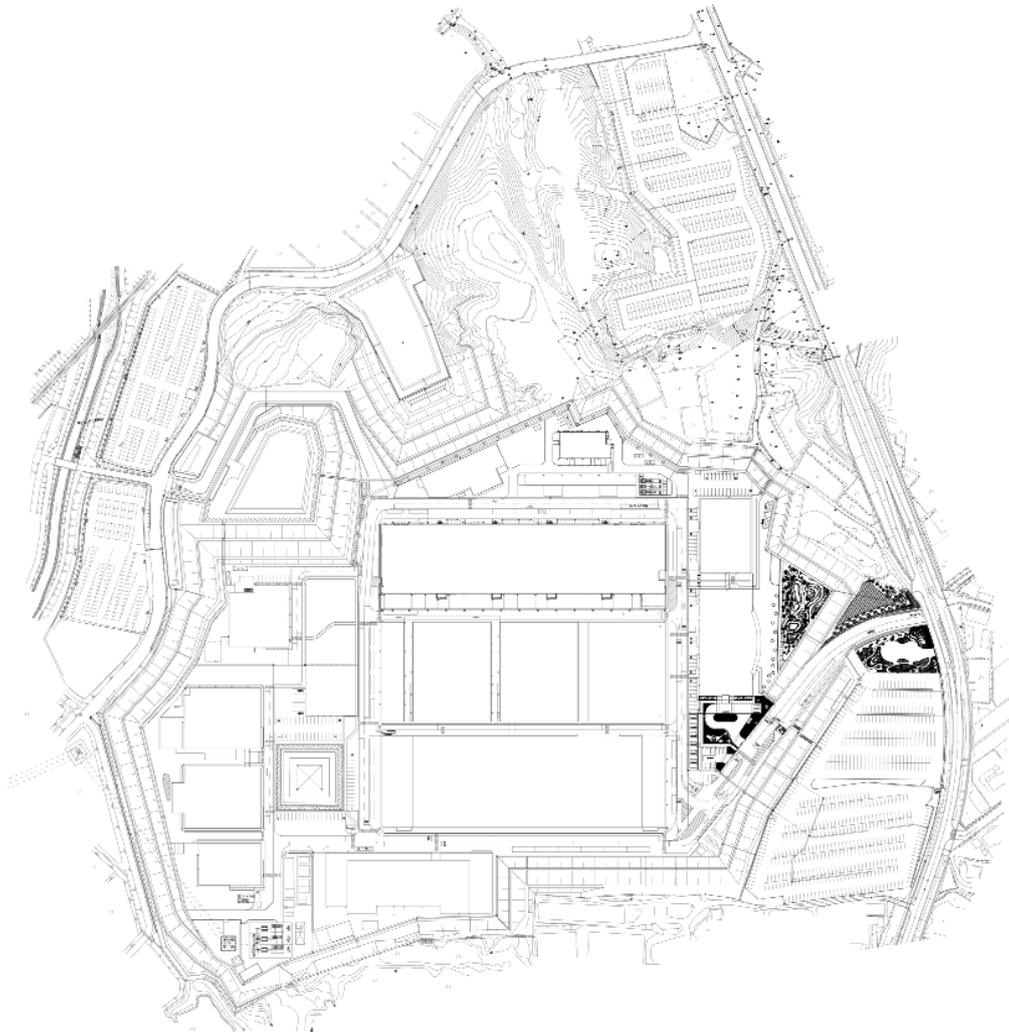


工場で利用した水が流れる地域の河川（梅田川クリーン作戦）や地域（湖西市）の主要河川（古見川きれい作戦）、それらの河川が流れ込む湖（浜名湖：浜名湖クリーン作戦）の清掃活動に積極的かつ継続的に参加しています



近隣の中学校、取引先、海外からの訪問者ならびに従業員の家族等の来社に際しては、製品生産工程（ものづくり）の説明・見学だけでなく、ビオトープや共存の森、排水処理など当社での環境取組みについて説明する機会を可能な限り見学プランに組み入れて当社の経験を共有する場を創出しています

敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

環境にやさしいエコで快適なカーライフに貢献する環境対策車（ハイブリッド車）の駆動用電池専門のメーカーとして、製品を生み出す工場・生産環境もまた地球にやさしいモノづくりを体現する場であるべきとの認識から、「地域環境との共存・共生」を重視した取組みをおこなっています。大森本社工場の造成に当たっては、いわゆる「宮脇方式」を取り入れた敷地のり面の緑化や従業員一人一人が植樹した『共存の森』、里山（残地森林）の保護、ビオトープの整備といった地域の自然環境との共存に加えて、地域の将来を担う子供たちとの環境学習を通じた交流・学習支援や社外からの訪問者への環境取組み説明など、様々な知恵を広く借りながら、“私たち自身で考え、私たち自身で出来ること”に取り組んできました。今後も「ハーモニアスエネルギーで作る車の未来と地球環境」を合言葉に、様々な要素のハイブリッド（掛け合わせ）で工場緑化の維持向上と地域環境との共存に取り組んでまいります。

テクノハマ株式会社

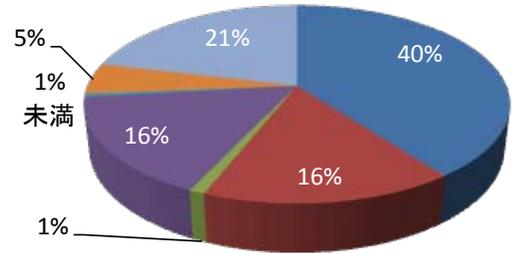
工場所在地 〒470-0441
愛知県豊田市深見町鳥目 1026 番地
0565-76-0881

主たる業種名 金型・機械設備設計・製作業

ウェブサイト [http://www.kojima-tns.co.jp/
tekunohama/company.html](http://www.kojima-tns.co.jp/tekunohama/company.html)

緑地等の種別面積割合

<緑地等の総面積 9,432m²>



- 自然型樹群・樹林
- 整形型樹群・樹林
- 単木・列状植栽地
- 地被植物
- 花壇
- その他
- 緑地以外の環境施設



工場緑化のキャッチフレーズ

緑に包まれた空間で仕事をする

緑化等の概要

- テクノハマ株式会社がこの地に移転して14年。元々樹木に囲まれた地形ではあったが、植栽や緑地整備を地道に行ってきた現在の姿がある。2007年にはISO14001の認証を取得。環境に配慮した緑地整備の意識を向上させた。
- 正門の来客駐車場は緑の面積を増やすことを考え、舗装帯部分からスマートグリーンパーキングを採用して地被植栽で覆った。正門西側には従業員も協力して緑化ウォールを植栽。
- 事務棟と工場棟の間の通路においても地被植栽を施し、ウッドデッキを張り、洋風鉢を置いて洋風ガーデンのような場所を設置した。
- 構内には大きく3つの緑地帯が形成されている。
 - ・用地南東側に「ハマ公園」と称する社員憩いの場。社員食堂側から構内路を横断してガーデン入口アーチをくぐり、芝の築山下部にウッドデッキ通路が張っており散策できる。隣接する調整池に小さな吊り橋が掛けてあり、渡った先に自然地形を生かした見晴し台が設置してある。
 - ・用地北東側に沈砂地があり、この窪地にウッドデッキ通路を張り、日本庭園風緑化にこだわった形にしている。
 - ・用地北側斜面には多くの樹木が植栽され、その中を管理歩道が設置してある。
- 上記3緑地帯の間を芝歩経路が設置してあり、花壇や列状植栽が施してあり、用地内を緑を感じながら歩いて半周できるようになっている。
- 従業員が花壇の手入れや草取りに参加する、廃材を利用して緑化の中にリサイクル品を活用するなどが特徴。
- 建屋から一步外へ出れば、どこにも緑がある事業所になっている。

<緑地のようす>



スマートグリーン駐車場



ハマ公園調整池



ハマ公園エントランス



植栽地



中通路



沈砂地庭園



列状植栽・花壇・リサイクル ベンチ・ウォール



緑化ウォール

<力を入れている取り組み>



花壇手入れ：従業員が参加しての管理



草取り：定期的に従業員で草取りをしています



新入社員植樹：毎年新入社員が記念植樹をしています

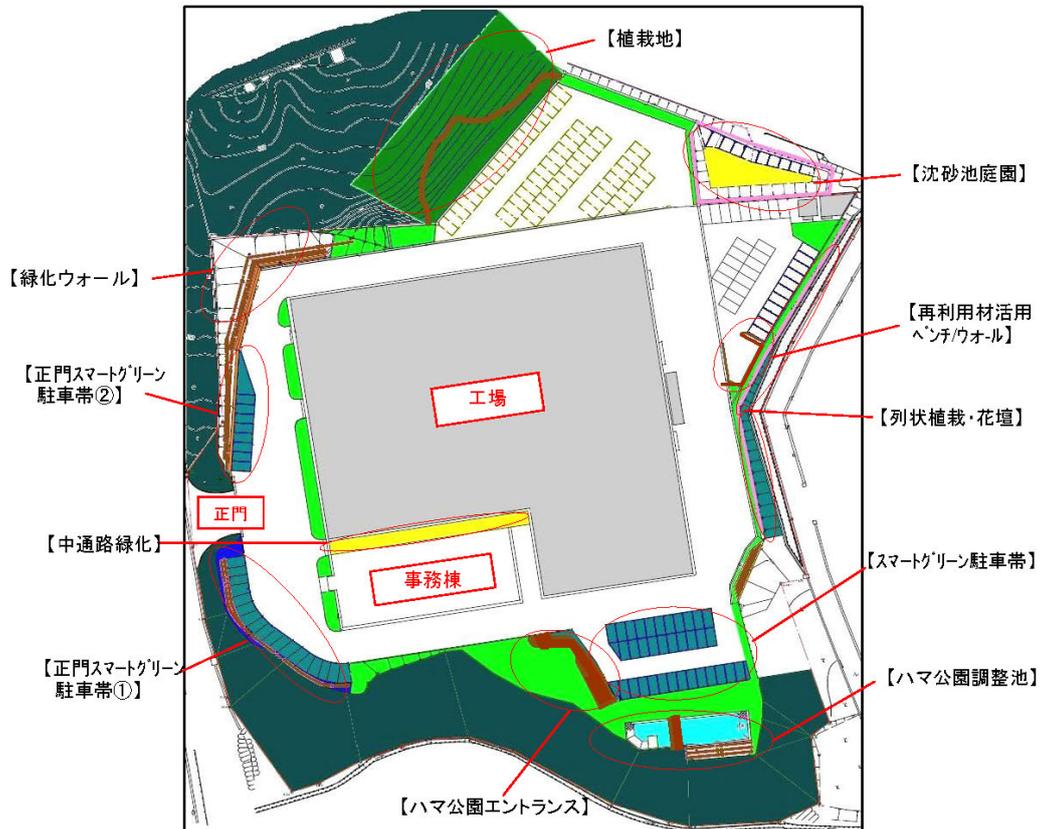


再利用テーブル・ベンチ



廃材リサイクル：荷物の梱包材木を利用して従業員が簡易ベンチ・テーブル・ウォールなどに加工して緑化活動の一助にし、かつ廃材を出さないリサイクル活動にも取り組んでいます

敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

この地へ移転して14年、少しずつ植栽や緑地整備を行って参りました。

従業員が花壇の手入れや草取りに参加する、廃材を利用して緑化の中にリサイクル品を活用するなどが特徴です。

緑に包まれた空間で心を和ませながら仕事をしつつ、環境意識の向上を図り、少しでも地球環境に貢献できたらと考えております。

豊田鉄工株式会社

工場所在地 〒471-8507
愛知県豊田市細谷町 4-50
0565-26-1958

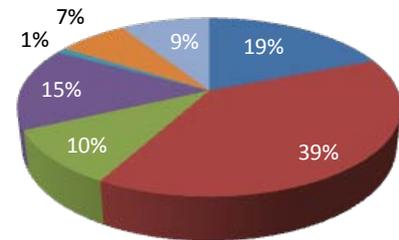
主たる業種名 自動車部品製造業

主要製品名 ボディー部品、パーキングブレーキ
センターピラー、ラジエターグリル

ウェブサイト <http://www.tiw.co.jp/>

緑地等の種別面積割合

<緑地等の総面積 19,247m²>



- 自然型樹群・樹林
- 整形型樹群・樹林
- 単木・列状植栽地
- 地被植物
- 花壇
- その他
- 緑地以外の環境施設



工場緑化のキャッチフレーズ

環境にやさしいものづくり工場で
緑でつなぐ 未来のトヨタ

緑化等の概要

○従業員の意思統一と会社の発展を持続する為、トヨタツマインド（私たちの思い）を作成し、その中に『三つの第一』『向上』『人間性尊重』を掲げ、羅針盤として意識・行動すると共に更に進化させ、トヨタツマンとしての誇りを持たせております（三つの第一：安全第一・お客様第一・品質第一）。

○COP10 会議における「生物多様性戦略計画 2011-2020 及び愛知目標」におきまして、弊社も生物多様性の損失を防止するためにも、「生態系ネットワーク」の形成を通じた生物多様性の主流化の実現に向け、生態系ネットワーク構築のため森づくりを進めてきました。
コンセプトとして

- ①既存樹木は残す（クロマツ・サクラ・ハナミズキ等）
- ②生物多様性保全活動としてビオトープを設ける
- ③苗木を植樹し、自分たちの手で森をつくる
- ④四季を通じ楽しめる花木を植樹する
- ⑤来客者や従業員のための安全通路を確保する
- ⑥緊急時の避難場所として活用する

○潜在自然植生として宮脇方式を取り入れ、苗木の植樹を行いました。

○高木、中木、低木あわせ 1,300 本の常緑樹、落葉樹を取り混ぜ、四季折々の花が楽しめるよう植樹を行いました。又地球温暖化の防止に少しでも貢献するため、CO₂の吸収の良い高木のコナラ、シラカシ、アラカシなどを植樹しています。

○地域への貢献としまして、豊田市の『エコ企業ガイド』冊子にも載せ「トヨタツの森」を一般公開しております。

○屋上緑化にも取り組んでいます。

<力を入れている取り組み>

①従業員の環境意識向上



環境展示会



環境改善コンクールと優秀事例展示会



環境ニュースの発行

- ・環境川柳
- ・環境創意工夫提案
- ・ライトダウンキャンペーンの参画
- ・環境月間のトップメッセージ掲示
- ・ウォータープロジェクトに参画



その他の取り組み

②地域とのコミュニケーション



環境の取り組みを一般市民に公開（豊田市の企業合同）

③エコ交通の推進

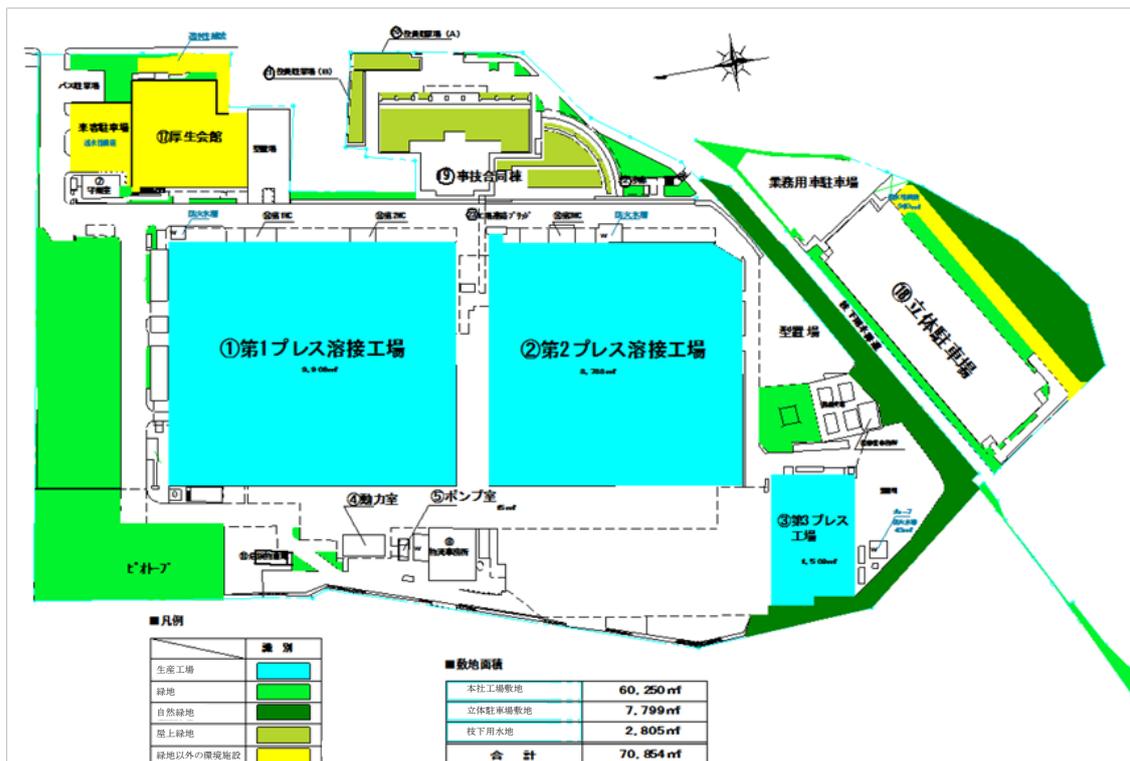
エコドライブ10のすすめ

- ★ ふんわりアクセル「eスタート」** 燃費 10% アップ
「やさしい発進を心がけましょう。」
- ★ 暖機運転は適切に** 13cc/分消費 (暖機運転時)
「エンジンをかけたらすぐ出発しましょう。」
- ★ 加減速の少ない運転** 燃費 2~6% アップ
「車間距離は余裕をもって、交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう。」
- ★ 道路交通情報の活用** 13cc/分消費 (暖機運転時)
「出かける前に計画・準備をして、渋滞情報や道路障害等の情報をチェックしましょう。」
- ★ 早めのアクセルオフ** 燃費 2% アップ
「エンジンブレーキを積極的に使しましょう。」
- ★ タイヤの空気圧をごまめにチェック** 燃費 2~4% アップ
「タイヤの空気圧を適正に保つなど、確実な点検・整備を実施しましょう。」
- ★ エアコンの使用を控えめに** 燃費 12% アップ
「車内を冷やし過ぎないようにしましょう。」
- ★ 不要な荷物は積まずに走行** 燃費 3%ダウン (積重100kg時)
「不要な荷物は積まないようにしましょう。」
- ★ アイドリングストップ** 13cc/分消費 (アイドリング時)
「無用のアイドリングをやめましょう。」
- ★ 駐車場所に注意** 13cc/分消費 (暖機運転時)
「渋滞などをまわくので、違法駐車はやめましょう。」



国内外事業体の全従業員にエコドライブ宣言

敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

地域社会や自然に配慮し、環境との調和を目指しています。

地球環境保全としまして、工場緑化はもちろんのこと CO₂ 低減にも取り組んでいます、活動としまして省エネや再生可能エネルギーとして太陽光発電を導入してまいりました。

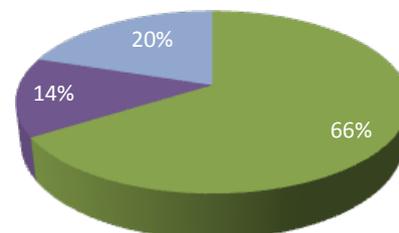
トヨタの森におきましては、COP10 あいち生物多様性 2020 の戦略にあります、生態系ネットワークを進めるうえで良い位置関係となっているため、ビオトープを作り地域の生態系の維持を進めていきます。

従業員 1 人 1 人にも環境への取り組みを理解していただくため、環境関連の展示会や環境改善提案を募集したり、また通勤においての ECO 宣言をして全社をあげて環境保全に取り組んでいきます。

工場所在地 〒768-0065
香川県観音寺市瀬戸町四丁目1番70号
0875-25-4171
主たる業種名 化学工業
主要製品名 ワクチン
ウェブサイト <http://www.biken.or.jp/>

緑地等の種別面積割合

<緑地等の総面積 42,123m²>



- 自然型樹群・樹林
- 整形型樹群・樹林
- 単木・列状植栽地
- 地被植物
- 花壇
- その他
- 緑地以外の環境施設



工場緑化のキャッチフレーズ

地域の気候風土を考慮した開放的な工場

緑化等の概要

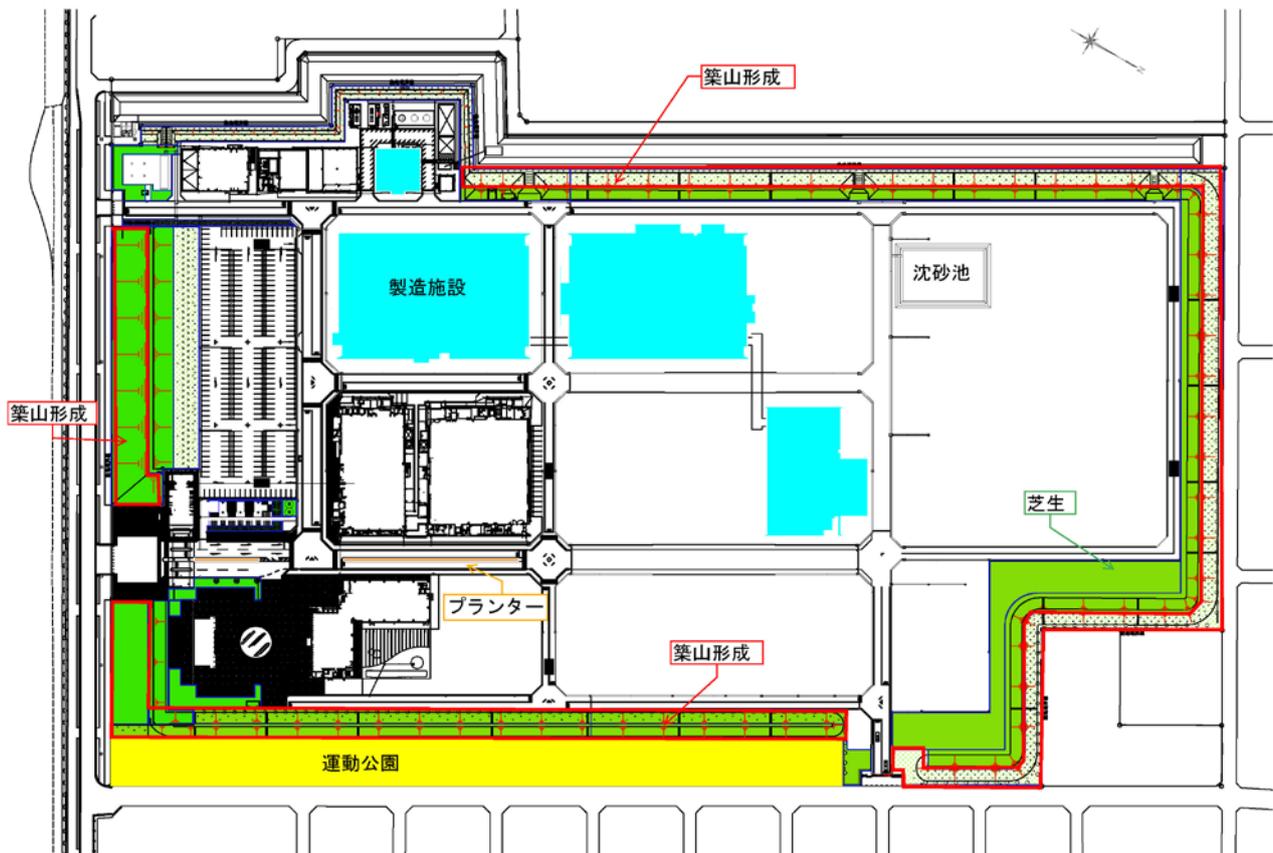
- 海岸近傍の工業地域内でありながら、近隣に住宅地が多くある立地において、周辺環境に対して十分に配慮された工場緑化が行われている。
- 工場のセキュリティを確保しながらも、近隣住民に対して圧迫感を与えず、地域に開かれた印象となることをコンセプトとしており、コンセプト実現のため敷地境界沿いに全面芝生の築山を形成した。
- 通常、工場の侵入防止策としては壁やフェンスの設置とするところを、一面壁で取り囲んで工場特有の無機質な印象を与えたりフェンスから工場の内部がそのまま見えてしまうことも避けたいと考え、敷地境界沿いになるべく多くの緑地を配置するとともに、フェンス沿いに緩やかな勾配をもつ全面芝生の築山を形成した。
- これにより、敷地内外の視線を制御しながらも、周辺環境に対して芝生の法面が緩やかに迎える形となり、広々とした開放的な雰囲気を作り出している。
- 海岸近傍の立地において、強風や塩害といった育成の制約環境がある中で、周辺にある樹林と同じ樹種を用いたり、堅強な鳥居支柱を設けたりするなど工夫し、しっかりと手入れして緑地の維持が図られている。
- 緑地以外の環境施設となる公園は、地域に開放され、敷地境界沿いの緑地と同様に開放的な雰囲気ですべて近隣住民にとって安心して利用できる施設となっており、公園内にはスロープや手すり等が設けられ、高齢者等にも使い易い施設となっている。
- 工場内部においては、立体的な景石と化粧砂利で和を演出したロータリーや県花・県木であるオリーブを取り入れた中庭をもって、来客を出迎えている。

<緑地のようす>





敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

当工場の美しく管理された開放的な緑地は、清潔で近代的な工場イメージや、地域に開かれた工場を目指す企業姿勢を伝える、重要なツールとなっております。

工場緑化は、法令における要件を満たすことのみを目的とするのではなく、地域風土や近隣住民、そこで働く従業員への配慮を取り入れることで、更なる価値を生み出していくものと考えております。

今後も地域に根付き、地域に開かれた工場となるよう、一層努力してまいります。

大分キャノン株式会社 大分事業所

工場所在地 〒870-0292
大分県大分市大字迫 564-1
097-524-1100
主たる業種名 情報通信機器器具製造業
主要製品名 デジタルカメラ
ウェブサイト <https://www.oita-canon.co.jp/>

緑地等の種別面積割合

<緑地等の総面積 74,759m²>



- 自然型樹群・樹林
- 整形型樹群・樹林
- 単木・列状植栽地
- 地被植物
- 花壇
- その他
- 緑地以外の環境施設



工場緑化のキャッチフレーズ

地域自然と融合したランドスケープ

緑化等の概要

- 平成16年に大分市に立地して以来、周辺立地環境に配慮し、総合的な緑化計画に基づいた工場緑化を推進している。
- 周辺の土地利用や都市計画上の用途地域に配慮しながら、緑地として届出を行っていない裸地についても植栽を行う等、より一層の緑化に努めている。
- シャクナゲ、バラ、クロユリ、ツツジなど多数の種類を植栽しており、手入れもよく行っている。
- 工場敷地内において、「キャノンの森」と呼んでいる自然林の保全に努め、ビオトープの整備やキジの生育に取り組むなど、生物多様性の確保に努めている。
- 「キャノンの森」には国鳥であるニホンキジや大分固有のオオイタサンショウウオが生息し、5月にはたくさんのゲンジボタルが飛び交う。
その他、トビ、カモなどの鳥類や、トンボ、チョウ、ハンミョウなどの昆虫が生息している。
「キジの放鳥」、「ツリークライミング」、「自然探索教室」「野イチゴ狩り」等のさまざまなイベントを開催するなど、緑地等が地域のスポーツ、文化交流の場として活用されている。
- 地球温暖化防止活動に積極的に取り組み、日刊工業新聞主催の「オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」において優秀賞を受賞するなど、環境負荷の軽減にも貢献している。

<緑地のようす>



<力を入れている取り組み>

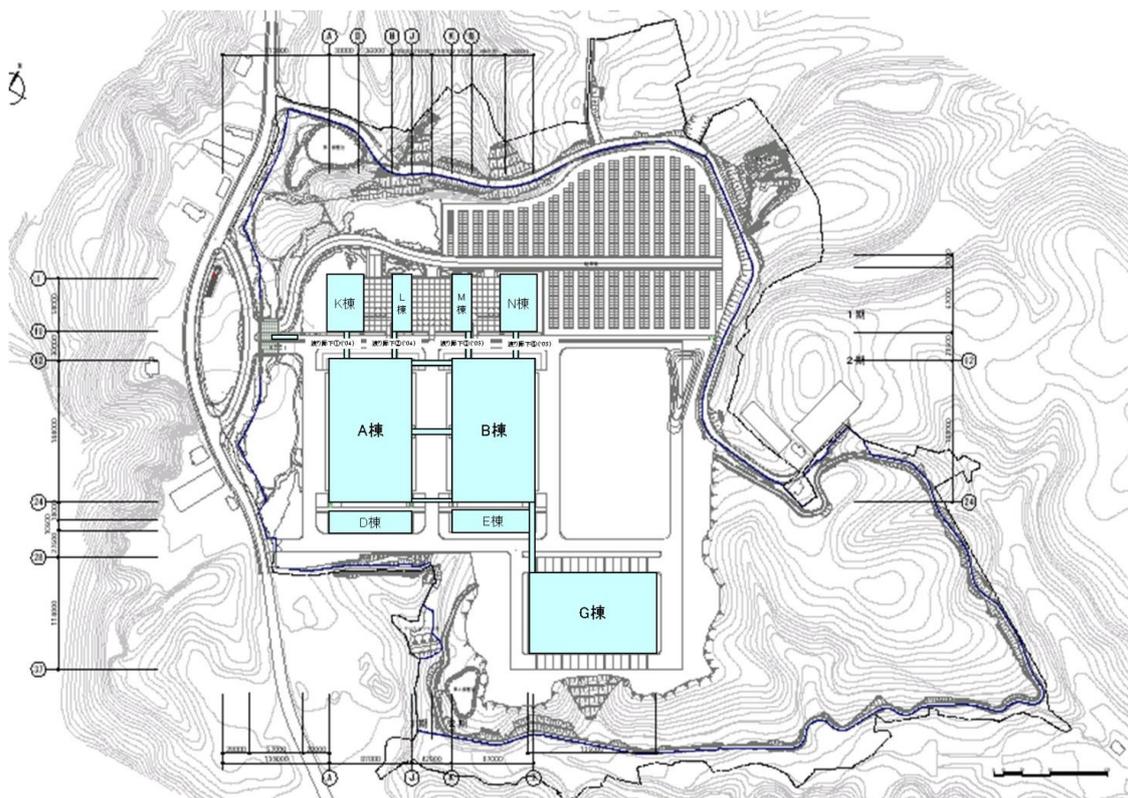


キジの放鳥活動



桜ウォーク

敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

弊社は、大分市東部大野川にほど近い丘の上に位置し、周辺には手つかずの自然があふれています。

この豊かな自然を壊すことなく、「共生」していくことも私たちの大切なテーマと考え、工場敷地内の自然林を「キャノンの森」として大切に管理しています。

「キャノンの森」等の緑地エリアでは、従業員が育雛した「ニホンキジの放鳥活動」や、「春の桜ウォーク」など自然を体験できる様々なイベントも行っています。

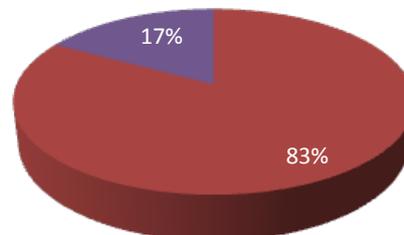
今後も、この豊かな森と生物多様性を保ちながら、地域の方にも開かれた緑地の活用を目指しています。

株式会社吉野工業所 伊勢崎工場

工場所在地 〒372-0854
群馬県伊勢崎市飯島町 540-1
0270-32-8115
主たる業種名 プラスチック加工
主要製品名 プラスチックチューブ
ウェブサイト <http://www.yoshinokogyosho.co.jp/>

緑地等の種別面積割合

<緑地等の総面積 10,700m²>



- 自然型樹群・樹林
- 整形型樹群・樹林
- 単木・列状植栽地
- 地被植物
- 花壇
- その他
- 緑地以外の環境施設



工場緑化のキャッチフレーズ

人と緑の和で地域に優しい工場へ

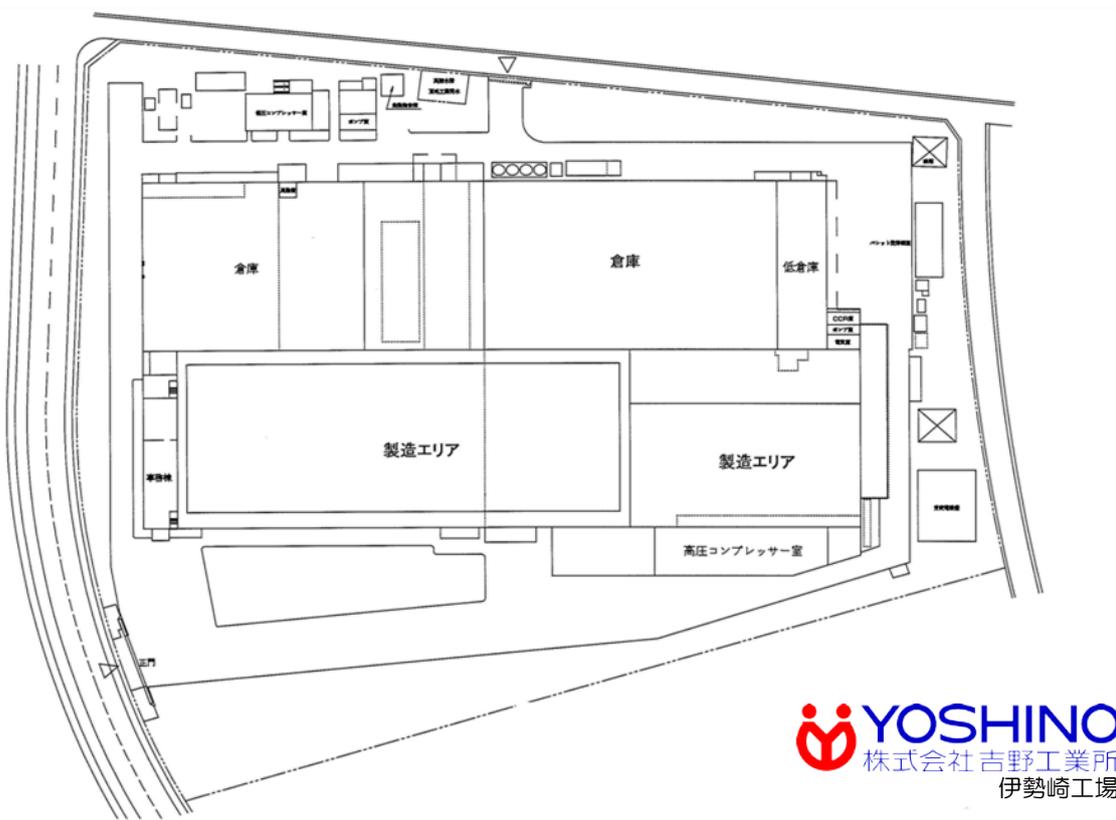
緑化等の概要

- 株式会社吉野工業所 伊勢崎工場は、「自然とともに生きてきた人間は限りある資源を効率よく使い、可能な限り再利用していかなければならない」という考えのもと、昭和 63 年に群馬県伊勢崎市に立地した当初から自然と調和した工場を目指した環境整備に努めている。
- 創業時から少しずつではあるが、緑地を増加し、管理職が率先して毎朝敷地内の清掃を行っている。特に、工業団地の顔となる入り口に立地しているため、団地全体の印象を損なうことが無いよう、外観及び周辺が常に美しい工場であることを目指している。また、そのような努力はものづくりに対する姿勢の一端でもあることを社内で意識しており、日々励んでいる。
- 工場の正面入り口に地元伊勢崎市の市の木であるマツを植栽し、来客者にやすらぎを与えるシンボルとなっている。
- 緑化の具体的な取組については、社員自らも緑地の手入れを行い、社員の緑化意識を醸成するとともに、社員で対応できない作業の一部は、社会貢献に寄与できるよう地元の人材シルバーセンターの専門者に依頼し、マツやツツジが映えるような景観作りに取り組んでいる。
- その結果、正門の正面にあるマツの木は来客からも好評を得ており、操業以来、工場のシンボルとして管理している。また、工場西側に設置したフジ棚は、屋外の休憩所と近接していることから、従業員の疲れを癒やし、効率的な作業につながっている。
- 地域に密着した企業を目指し、緑化の品種には地元伊勢崎市の「市の木」であるマツや「市の花」のツツジを多く植栽し、大切に管理している。市主催で毎年開催する「いせさき銘仙の日」では、ブース展示及び製品の提供を行っており、イベントの活性化に貢献している。

<緑地のようす>



敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

弊社は操業開始以来、「自然とともに生きてきた人間は限りある資源を効率よく使い、可能な限り再利用していかなければならない」という考えのもと、環境整備に努めて参りました。

社員自ら緑地の手入れを行う他、地元のシルバー人材センターとの連携、市主催のイベントへの参加など、地域への貢献活動も行っております。

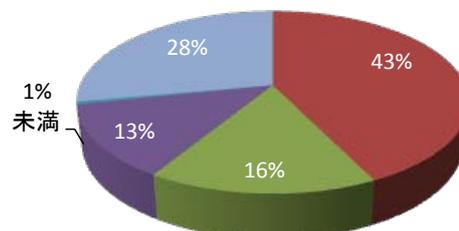
今後もより良い環境を目指し日々の活動を重ねていく所存です。全国の担当の皆様、共にごがんばりましょう。

マルコメ株式会社 第2・第3工場

工場所在地 〒380-0943
長野県長野市安茂里 883
026-226-0255
主たる業種名 食料品製造業
主要製品名 味噌
ウェブサイト <http://www.marukome.co.jp/>

緑地等の種別面積割合

<緑地等の総面積 6,031m²>



- 自然型樹群・樹林
- 整形型樹群・樹林
- 単木・列状植栽地
- 地被植物
- 花壇
- その他
- 緑地以外の環境施設



工場緑化のキャッチフレーズ

地球にやさしく、信州の自然や人々に気づかう工場を

緑化等の概要

- マルコメ株式会社第2・第3工場は、長野県長野市の中心市街地の西縁を流れる裾花川の右岸に立地し、工場に沿って植えられているシダレザクラの並木は、春になると美しい花を咲かせ、通勤・通学の方や工場に訪れる方々の目を楽しませている。
- シダレザクラの開花期間中は、ベンチを設置することにより、高齢者や地域の人々の憩いの場として楽しんでもらえるようになっている。

- いつも気持ち良く楽しんで頂けるように、並木の下に広がる緑地帯は、頻りに除草作業を行っている。
- 花びら、花弁、落ち葉などが散乱し、通行の妨げにならないように、その都度、清掃を行っている。
- より多くの花を咲かせるため、害虫駆除の消毒を行い、秋には自社の排水処理汚泥を利用した有機肥料の施肥も実施し、さらなる景観の向上にも努めている。
- シダレザクラの後には、ツツジ、サツキの花が咲き、夏場にはサルスベリ、アベリアとつづけて花を楽しむようにしている。

<緑地のようす>

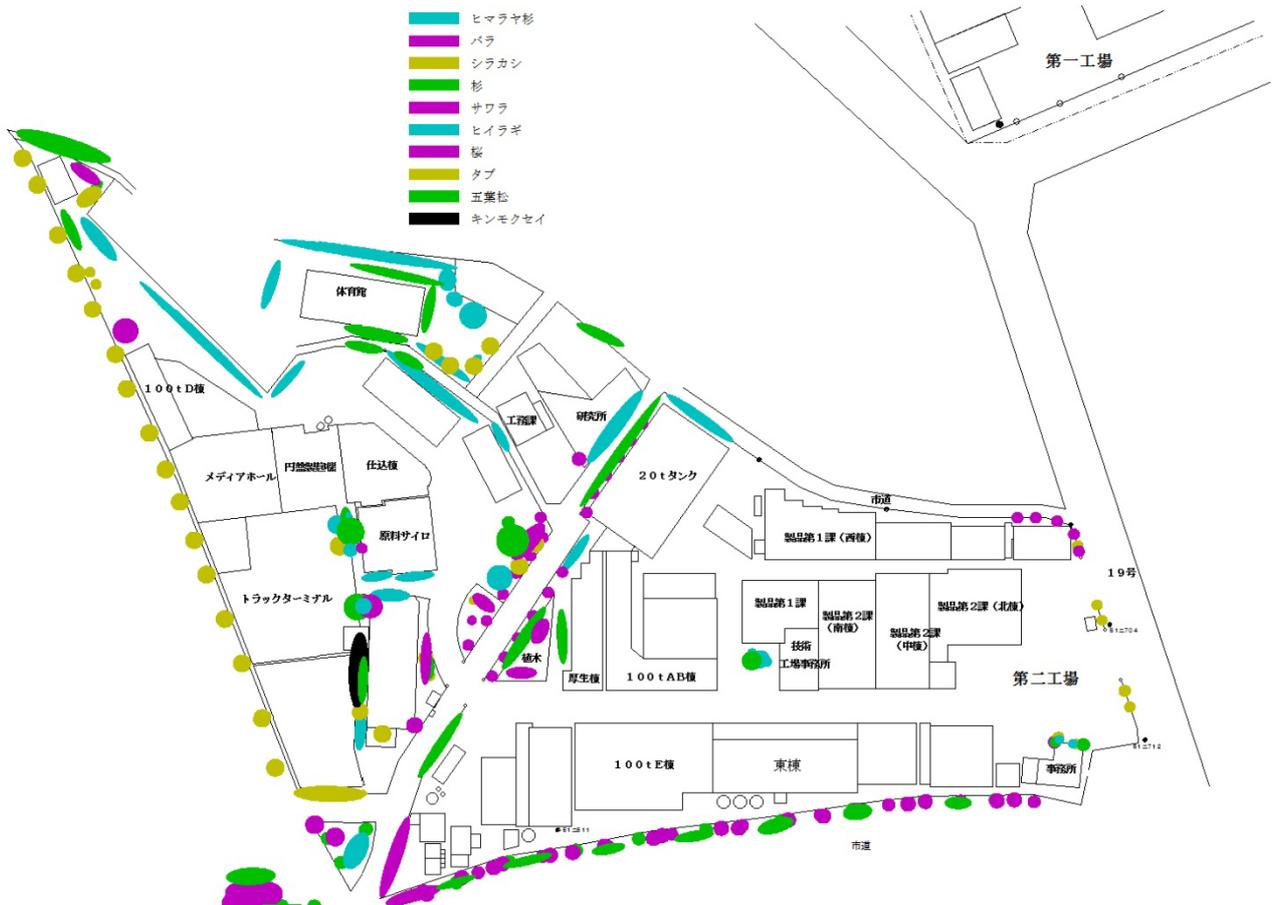


<力を入れている取り組み>

当社に面した川沿いの道に植えられているサクラ並木は、毎年写真撮影をされる方がいらっしゃるほど、春には美しい景観となり、地域の方々の癒しとなっています。敷地内の緑化推進・管理に加えて、当社ではその景観維持のためサクラ並木の道の清掃や、堤防沿いの清掃も力を入れています。

また、製品の製造の際に排出される工場廃棄物を、外部で土壌改良剤として生まれ変わらせたものを、工場緑地帯に散布するなどの活動も行っています。

敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

緑地管理は大変ですが、汗をかきながら、素晴らしい景観を張りあい頑張っています。

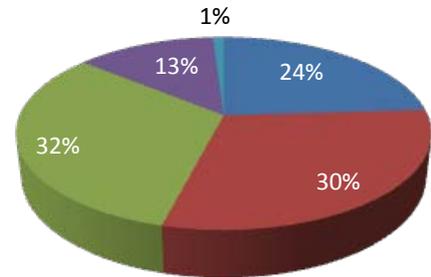
そして地道な活動ではありますが、このような工場の緑地化やその管理に努めることにより、地域環境の保全・維持だけでなく、地域の皆さまにもっと親しんでいただける工場となることを目指し、日々取り組んでいます。

株式会社小松村田製作所

工場所在地 〒923-0804
石川県小松市光町 93 番地
0761-21-9111
主たる業種名 電子部品製造業
主要製品名 モジュール品

緑地等の種別面積割合

<緑地等の総面積 3,594m²>



- 自然型樹群・樹林
- 整形型樹群・樹林
- 単木・列状植栽地
- 地被植物
- 花壇
- その他
- 緑地以外の環境施設



工場緑化のキャッチフレーズ

緑豊かな市街地にある工場

緑化等の概要

- ・村田製作所（京都府）およびグループ会社は「当社の工場がそこにあることがその地域社会のよろこびであり、誇りであるような工場でありたい」という理念に基づいて設立・建設されたものです。緑化活動もその理念の元、グループ会社各社が設立当初から行なってきました。
- ・ゾーンごとに緑化コンセプトを定め、具体的な5か年中期計画を作成し、それぞれ特色のある緑地形成を行っています。石川県の県木「アテ」や、小松市の市木である「クロマツ」のなかでも特にめずらしい「根上（ねあがり）の松」を正面玄関横に植えるなど、“地域性”を強く意識しています。
- ・今年度から構内緑地バラゾーンの一般開放を行い地域住民との交流を深めました。また、小松駅東口広場にプランターを設置するなど、公的機関と連携した緑化活動に積極的に取り組んでいます。
- ・外周の生垣を低く刈り込むことで、往来者や訪問者に対して威圧感を与えず、外から緑地が見えるように配慮しています。

<緑地のようす>



<力を入れている取り組み>



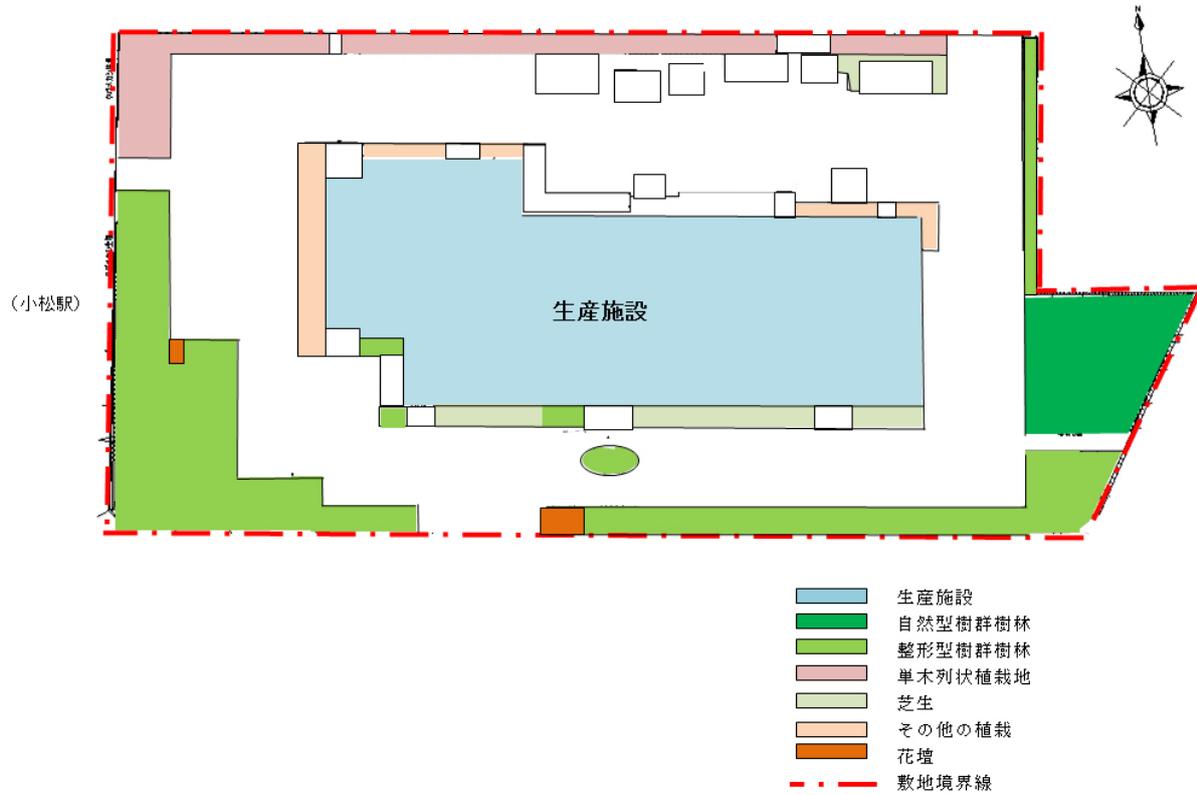
環境学習
2012年度から、近隣の保育園児達と共同で、グリーンカーテン作りに取り組んでいます。



地域貢献活動
海岸清掃・ヨシ刈りなど地元地域の維持整備活動に積極的に参加しています。

敷地平面図

構内平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

小松村田製作所は、石川県小松市の中心地に立地した事業所であり、周辺環境との調和と、従業員や地域からの「ぜひ」を創造した緑化環境づくりを目指します。

日東薬品工業株式会社 綾部工場

工場所在地 〒623-0117
京都府綾部市とよさか町6番地
0773-42-5344

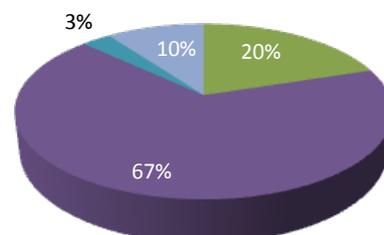
主たる業種名 医薬品製造業

主要製品名 若甦錠S、ザ・ガードコーワ整腸錠PC

ウェブサイト <http://www.nitto-pharma.co.jp/>

緑地等の種別面積割合

<緑地等の総面積 8,600m²>



- 自然型樹群・樹林
- 整形型樹群・樹林
- 単木・列状植栽地
- 地被植物
- 花壇
- その他
- 緑地以外の環境施設



工場緑化のキャッチフレーズ

自然と調和した『ラブリーファクトリー』

緑化等の概要

- 緑地の景観を重視しており、花と緑に囲まれた公園のような工場をコンセプトとして、芝生、植木、花壇等を配置し、手入れの行き届いた管理をしている。
- 建造物のデザインや色彩にも配慮しており、周辺の芝生や花壇と調和し、美しく清潔感のある景観をつくらせている。
- 工場敷地外の道路等で定期的にごみ拾いを実施し、清掃活動を通して地域に貢献している。
- 花と緑に囲まれた従業員の憩いの場づくりを行っている。
- 当社の創始者がフランスベルサイユからマロニエの実を持ち帰ってきたものを育てている
- 業種に関わりのある薬木 10 種類程度を植栽している。

<緑地のようす>



薔薇のアーチでお客様をお迎えします



木々に囲まれた第二製剤棟



四季折々の花が楽しめる菌培養棟



山小屋風の従業員食堂《Tutti House》



創業者ゆかりのマロニエの木（中央）と
ガーデンテラス



業種に関わりのある薬木を育てています

敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

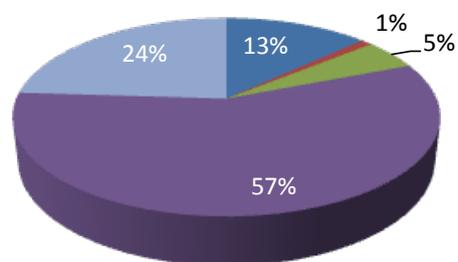
美しい自然に囲まれた京都の丹波地域。緑豊かな環境の中で医薬品づくりに取り組んでいます。
真っ白な壁と三角屋根、コテージ風の外観。季節の花々が咲きほこる、ゆとりとやすらぎの場を保ち続けています。

株式会社お菓子の香梅 阿蘇西原工場

工場所在地 〒861-2402
熊本県阿蘇郡西原村大字小森 3590-3
096-279-2501
主たる業種名 食料品製造業
主要製品名 和菓子、洋菓子
ウェブサイト <http://www.kobai.jp/>

緑地等の種別面積割合

<緑地等の総面積 8,218m²>



- 自然型樹群・樹林
- 整形型樹群・樹林
- 単木・列状植栽地
- 花壇
- 地被植物
- その他
- 緑地以外の環境施設



工場緑化のキャッチフレーズ

緑と水に恵まれた阿蘇と共生する工場

緑化等の概要

当工場は、熊本県の阿蘇熊本空港より東へ約5kmの地点で、阿蘇の外輪山の一角（俵山）を望む風光明媚な地域（阿蘇郡西原村）に位置しています。

1983年の工場建設当時より、植栽に用いる樹種については、社名由来の『梅』やお菓子の由来に関係する『橘』、あるいは『花梨』など、「お菓子づくり」に関連する樹種を加えて選定し、事業に因む緑化に取り組んでいます。

また、緑地部分の維持については、従業員自らが関わり、年間あるいは複数年間をかけて順次刈り込み、整枝、剪定を実施する機会を設けています。

<緑地のようす>



<力を入れている取り組み>

- ・工場北西～北部分に「事業所内託児施設」（『親互園』）を設け、当工場内で働く従業員の子をお預かりできる体制を1990年より整えています。

その園庭、グラウンドには広い芝地を配置し、運動会などのイベント時はもとより、園の子どもたちが普段から自然に親しむことができる環境を構築しています。



『親互園』運動会

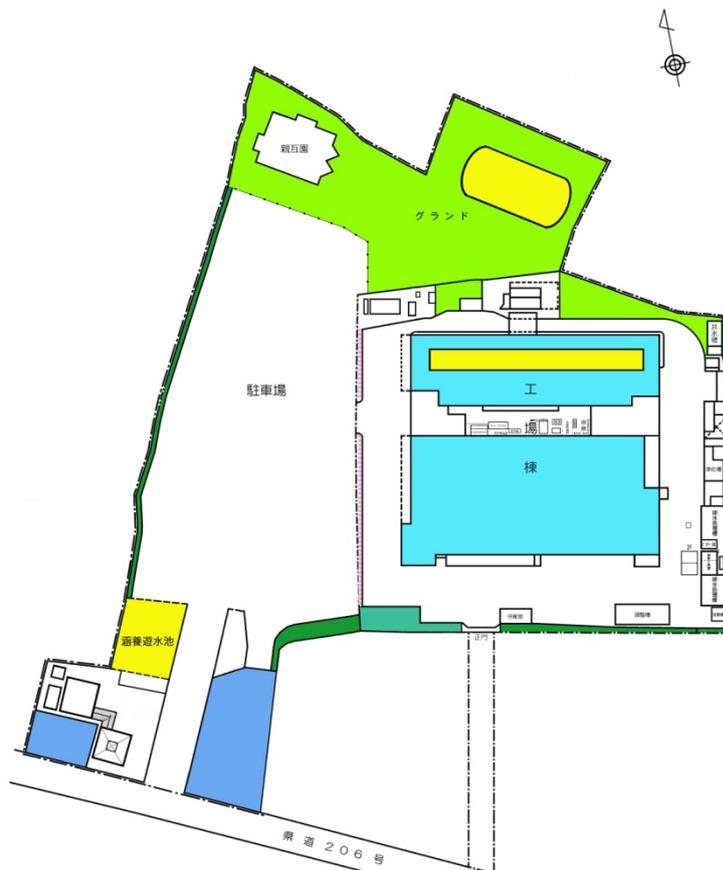
敷地内駐車場の広い面積に降った「雨水」を「雨水地下浸透施設」に導き、ここから再び地下水へと還すことによって 阿蘇地域 ⇒ 熊本市へと繋がる『阿蘇の伏流水』の涵養を図っています。
また、工場内で使用した水は、「活性汚泥法」により浄化し、河川へ還しています。



雨水地下浸透施設（写真箇所 地下）

工場内で使用する電力機器については、省電力型の導入を積極的に実施するとともに、工場建屋屋上に「太陽光発電設備」を設置し、再生可能エネルギーの導入、使用を行っています。

敷地平面図



全国の工場緑化担当者の皆様へ

当工場は、阿蘇山の裾野となる、すばらしい環境の中にあります。

「緑化」に関しましては、その周囲環境との調和を一義に実施してきました。

既にある自然から「学び」を得ることで、工場（事業）が地域に根付いていけるのではないかと実感しております。